

【第二分科会】④

大山一樹先生(千葉・松戸市立松戸高等学校)

コマ撮りアニメーションをつくろう

ー簡易機材で可能な映像メディア表現ー

Q1 一人あたりの撮影時間はどのくらいですか？

A 2～3時間です。

Q2 パソコンを利用した作業の詳細を説明してほしい。

A カードリーダーにSDカードを挿入→ムービメーカーを立ち上げる→写真挿入ボタン→全範囲指定→開くボタン→編集タブの再生時間を0.20にする→タイトルボタンで題名を入れる→必要に応じて再生時間や明るさを変える→ムービーの保存→コンピュータ用に保存(WMVファイル)⇒メディアプレイヤーで再生してみる⇒SDカードにWMVファイル保存して生徒に返却

※再生時間は微妙に変更、あるコマだけ2秒止めたり、あるシーンだけをルーピング(繰り返し)などします。最後のコマだけは必ず3秒止めます。

Q3 撮り直しさせることはありますか？

A 途中まで撮影したはずなのにデータが消えてしまったことがあり、その生徒はやり直しさせました。

Q4 早く完成した生徒へはどのように対応していますか？

A 他の生徒の手伝いか次の課題をやらせます。いつもは、油彩の抽象画のアイデアスケッチをさせています。

Q5 デジカメ購入はスムーズにできたのでしょうか？

A 始めから生徒分20台は厳しいので、1年で10台、2年間で20台買い揃えましたが、事務室は協力的でした。

Q6 作品の評価の手順や評価の観点はどのようにしていますか？

A 大会冊子に評価の観点は載せていますが、アニメーションの3つの魅力…「物に命を与えることができる、形を変化させることができる、ありえないことが表現できる」を意識できていれば評価を高くします。

Q7 (ネット等で公開されている)フリーの音源データは授業作品に使用できるのですか？

A 問題なくできると思います。ただ、編集での音源データの挿入は私は授業ではやりませんが、簡単にできるのでやってみてもいいと思います。

Q8 作品はどのように返却するのでしょうか？

A 評価用にハードディスクに保存後、SDカードにWMVファイル保存して生徒に返却します。保存時にファイル形式を選択できます。

Q9 制作期間と教材費、予算について教えてください。

A いつもは2学期の中ほどから始め、2学期までに完成させます。(10時間ほど)

鑑賞会は3学期の初めの授業でやります。鑑賞会では、選抜の20作品ほど観せていましたが、今度は、2時間使って全員(80人分)を観せようと思います。

Q10 スマホは利用しているのですか？

A スマホの使用は、指導書にも教員全体の下承を得た上で授業で使用している例がありますが、本校では、授業中のスマホははじめがつけられず関係ないことをやる生徒もいるので、参考画像検索すら認めていません。スマホ用のスタンドもあるので、コマ撮りは可能ですが、いちいち保存フォルダを探したり、iOSとアンドロイドOSの2種類あるため、ケーブルをいちいち変える手間や容量が足りるかの不安もあり授業では不向きだと思います。でも部活ならいいと思います。私個人の考えでは、生徒のスマホの所持率はほぼ100%ですが、絶対に毎年全員持っているとは限らないし、授業でスマホを使うことをしてしまうと、スマホを必ず全員買わせなければならないので、スマホは一切授業で使うつもりはありません。

アンケートでは、たくさんの励みになるお言葉ばかりいただきありがとうございました。

その他、何か質問などございましたら、本校までお電話ください。